

令和 8 年 5 月 13 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名・・・医療法人 仁風会 雲陽の里

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所

会議開催日・・・令和 8 年 5 月 12 日

開催場所・・・雲陽の里

出席者

事業所	1 人	利用者	人
利用者家族		地域代表者	3 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	人
知見を有する者		その他 ()	人

活動状況報告

1) 入所状況について

- ・4 月に 1 名入所、今週もう 1 名面談予定。

2) 生活状況・活動報告

◎4 月法人研修「接遇：電話対応について」職員参加

◎5 月法人研修「医療安全：危険予知トレーニング」職員参加

◎4 月外部評価の調査受け入れあり、結果は後日ネットにて公開。

3) ・インシデント及び事故報告（6 件）内容と対策について報告。

6 件中 3 件は同じ 80 代男性で、異食や介護拒否についてだった。トイレトペーパーへのこだわりが要因の一つと考えているが自室内にトイレもありペーパーを完全に管理する事は難しい。

4) ・身体拘束及び虐待に関する報告はないが、インシデントに挙げられた原因のわからない複数の皮下出血についてはカンファレンスで時間をとって話し合った。ぶつけた等の記録も無く、職員も思い当たるような事がなかったが、ご家族の聞かれた時に説明が出来ないようでは虐待を疑われても弁明出来ない事から①些細な事でも記録に残す。②身体的なケア対応の際は特に気をつけて無理が無いようにする。③前記の 2 点に注意しても不明な皮下出血が続くようであれば病的な要素がないか主治医に相談する。という事で意見をまとめた後は新たには観察されていない。

意見交換

職) 前年度まで参加をお願いしていた大庭地区の自治協会長さんが、今年度から火曜日に仕事に出る事になって出席が出来ない事ため副会長さんに今年度からの参加を依頼されたとの事だが、副会長さんは本日は都合がつかなかったため次回からの参加になるとの事だった。

地) この施設の近くに住んでおられる方なので、仮に書類を届ける事があっても困らないと思う。

職) 虐待案件で受け入れた利用者さまのご家族さまについてだが、その後病院受診に同行して外出

しても問題は無く、面会に来た時は一緒に小さなお菓子を食べたりする様子も見られ落ち着いたいい関係になっていると思う。適度な距離感になり良かったのではないかな。

市) 知っているなかでも頑張りすぎて周囲からみれば虐待では思うようなケースがあったが、サービスを上手に利用する事で本人の状態も関係性も非常に良くなったという事があった。

地) 一人では無理、人の助けを借りる事は決して悪いことではないと、だれもが早く気が付くというと思う。

職) 加齢黄斑変性症で治療が必要になった方がいるが、眼球に注射をする必要があるため治療が可能かはお家族も不安視している。無理なら中止する事になるが治療しないと症状が進んで生活に支障が出る事になるので見えない理由の理解が難しい認知症の方には厳しい状況だと思う。

地) 自分もその治療を受けている。期間も長くなるしそもそも治るわけではないので上手に付き合っていく事になる。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価をうけることができたか	
☐ 要望・助言等を受ける機会を設けたか	